

国名(日本語)	<b>サウジアラビア王国</b>
国名(英語)	<b>Kingdom of Saudi Arabia</b>



国名の由来	「サウド家のアラビア地方」を意味する。アラビアは、「砂の民、遊牧を行う人」という意味。小国が乱立していたアラビア半島に樹立されたワッハーブ王国の血を引くイブン・サウド家が、1927年にアラビア半島の大部分を統一して、ヘジャズ・ネジド王国として独立を宣言。1932年に現在の国名に改めた。
国旗の由来	中央にはアラビア文字で「アッラーのほかに神は無し、ムハンマドはアッラーの預言者なり」という『コーラン』の聖句が白く染め抜かれている。聖句の下に置かれた剣は、新月刀というアラブ民族のシンボルで、聖地メッカを命がけで守護する意味が込められている。地色の緑は、イスラム教の聖なる色。
1 面積	215万平方キロメートル(日本の約5.7倍)
2 人口	3,154万人(2015年 世界銀行)
3 首都	リヤド
4 言語	アラビア語(公用語)
5 宗教	イスラム教
6 豆知識	国旗については、国家統治基本法第3条C項で「半旗にはしないものとする」と決められている。そのため、他の国が弔意を表すために国旗を半旗にしても、サウジアラビアの国旗だけは途中まで引き下げることはしない。